

# 殿山第二小だより

令和 4 年 1 月 7 日 第 28 号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044



明けまして  
おめでとうございます！  
三学期がスタートしました。

13 日間の冬休みを終え、本日より三学期が始まりました。  
今年<sup>ね</sup>は十二支<sup>とし</sup>でいうと、三番目の寅年<sup>とらね</sup>（子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥）です。「寅年」を動物にたとえて「虎」年とされていますが、「虎」の字を使った諺や慣用句の中に「虎の子」（意味：トラは、わが子をとても大事にすることから、非常に大切なもの、貴重なものをいう。）があります。

今年、本校の創立 150 周年記念の年、貴重な節目の年です。まさしく「虎の子」の年を、子どもたちが考えた、150 周年スローガン「殿ニッコリ ～世界一幸せで仲間を大切にする学校～」を創っていきましょう。

見えてきたこと や 課題について

令和3年度 学校教育自己診断

児童アンケート集計結果考察 その2

◆全 20 設問の肯定的評価（A そう思う。B どちらかといえばそう思う。）平均数値は 85.35%でした。

20 問の設問内容については、子どもたちが主体的に学ぶ力を育むために必要な事柄であると考えています。一人ひとりの学力・能力の向上は基より、人と人が望ましい人間関係を築いていける能力も大切な“生きる力”だと思います。平均数値を少しでも上げていくことで、バランス感覚をもった教育を進めていきたいと考えています。

◆設問 4「授業中は、進んで発表している。」の肯定的評価は 67%。設問 18「授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。」の肯定的評価は 79%。そして、設問 2「学習しやすい雰囲気<sup>きふき</sup>で授業時間を過ごしている。」の肯定的評価は 91%でした。

主体的な学びの姿勢を構築させていくためには、これら 3 問に対する意識を向上させていくことが大切なことと思います。まず、自分で考える。次にペアーで考えたことを伝え合う。そして、グループで考えを広め、クラス全体で共有し、考えを深めていく。このような「考える」ことを様々な学習場面で繰り返し繰り返し行う経験を積み上げていくことが必要なことと思います。教師側の働きかけがキーポイントになると自覚しているところです。

◆設問 5「自分には良いところがあると思う。」の肯定的評価は 77%。設問 20「自分が取り組んだことを、最後までやりとげてうれしかったことがある。」の肯定的評価は 92%でした。

設問 20 から、子どもたちの大半は、自分自身が達成感、充実感をもつことができたことを体感していることが伺われます。堂々と自分自身に「自信」をもってほしいと思います。学校では「物事の始めから終わりまでやりきること。」を目標の一つとして、これまで取り組みを進めてきています。子どもたちには、ぜひ「自分には良いところがある。」と言い切ってほしいと思います。良いところは、たくさんあります。

◆設問 14「友だちや先生、地域の人たちに、あいさつをしている。」の肯定的評価は 87%でした。

あいさつの「あ」は、明るく。あいさつの「い」は、いつも。あいさつの「さ」は、先に。あいさつの「つ」は伝える。人と人との関係づくりは、“あいさつ”から始まります。100%をめざして、あいさつの声が温かく響き合う殿山第二小学校でありたいと思います。

◆設問 15 から 17 は、家庭での学習姿勢を問うています。

やらされ感の学習は、たとえ表面上はできたとしても、自分自身のものとしては身につけません。子どもたちの“やる気”をどう発揮させることができるかが課題です。これらの設問の肯定的評価を向上させるためには、学校と家庭との連携が必須のことと思います。子どもたちの成長に合わせた声かけ、見守り、そして、認められる、褒められる経験を多く積んでいくことが大事なことでないでしょうか。保護者の皆様、学校と一緒に子どもたちの“やる気”を育てていきましょう。

◆90%以上の肯定的評価と否定的評価の捉えについて

肯定的評価 100%をめざして、日々の取り組みをこつこつと積み上げていくことは言うまでもありませんが、否定的評価の数値にもしっかりと目を向け対策を講じていかなければならないと考えています。子どもたち一人ひとりの日常の表情に気を配り、メリハリを効かせながら、自らの指導力向上のため「チーム との二 教職員」として努めていきたいと考えています。

保護者の皆様、今後とも本校教育に温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。